

Syllabus Id	Syl.-072011
Subject Id	Sub-072-007000
更新履歴	070120
授業科目名	英語(選択:英語γ) English (English γ)
担当教員名	勝呂 譲 (SUGURO Yuzuru)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義と演習
実施場所	選択教室 I

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

社会において英語が果たす重要性に鑑み、工業技術者として必要な英語能力の向上を図って、英検やTOEICなどの外部試験の受験を督励する。と同時に、教養・娯楽として語学が持つ意味合いについても考えさせる。科学・技術についてのエッセイを読むことによって、論理的なものの考え方を身につけさせる。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英検2級の一次試験に合格する程度の能力を持っていることが望ましい。

学習・教育目標	Weight	目標	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 工学専門知識の創造的活用能力の養成 国際的な受信・発信能力の養成 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成 D.英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。	
		A		
		B		
		C		
	◎	D		
		E		

学習・教育目標の達成度検査

- 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
- プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
- 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

- 英検2級程度の英文を理解し、日本語でその大意をまとめることができるようになる。
- 英検準1級の筆記試験問題に60%程度正答できるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション・課題テスト	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	Part I 1	Reasons / Conclusions	
第3回	〃	〃	
第4回	Part I 2	Analysis (Social Phenomena)	
第5回	〃	〃	
第6回	Part I 3	Analysis (Evidence)	
第7回	〃	〃	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Part II 4	Controversy	
第10回	〃	〃	
第11回	Part II 5	Comparison / Contrast	
第12回	〃	〃	
第13回	Part II 6	Classification	

第14回	//	//	
第15回	前期期末試験		×
第16回	Part III 7	Chronological Order (History)	
第17回	//	//	
第18回	Part III 8	Cause & Effect	
第19回	//	//	
第20回	Part III 9	Process Analysis	
第21回	//	//	
第22回	Part IV 10	Explanation (Theory)	
第23回	//	//	×
第24回	Part IV 11	Definition	
第25回	//	//	
第26回	Part IV 12	Explanation (Experiment)	
第27回	//	//	
第28回	Part IV 13	Graph Analysis	
第29回	//	//	
第30回	後期末試験		×

課題 サブテキストの「会話・口語表現30」を一年間でクリアできるように、授業ごとに自習範囲を指定する。
オフィスアワー: 特に設けない。授業の前後の休憩時間を利用する。

評価方法と基準

評価方法:

テストは原則として、テキストの既習範囲及びサブテキストの指定箇所からの出題とする。必要に応じて臨時テストを行う。

評価基準:

テスト(含定期試験及び臨時試験)による評価60%、その他の資料・要因に基づく評価40%(オリエンテーションにおいて詳細を説明する)

教科書等	Outlook on Science and Technology (南雲堂)、会話・口語表現30(東京書籍)
先修科目	総合英語A、総合英語B、英語W、英語C
関連サイトのURL	http://cocet.nime.ac.jp/ COCET3300 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC NetAcademy 2
授業アンケートへの対応	実力と努力・意欲を正当に評価するよう心がける。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。